

滋賀県議会議員

村上 げんよう

県政レポート Vol.26 [第26号] 令和8年8月 発行

子どもたち 働く世代
元気の 処方箋
お年寄り



村上げんよう

残暑お見舞い申し上げます。

この度、7月28日に発生した「令和8年熊本地震」や8月13日の「令和8年8月千葉県雨」等の災害により、犠牲となられた皆様にお悔みを申し上げますとともに、被災されたすべての皆様によりお見舞い申し上げます。また、被災地の皆様のご苦勞や復旧に向けてご尽力いただいている関係者の皆様に感謝を申し上げます。

さて、7月には滋賀県知事選挙が行われ、新しい輸出が始まっております。三日月大造滋賀県知事とともに「健康しが」を目指し、より良い滋賀となるよう頑張っております。

今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
夏の気温が年々高くなり35度を超える厳しい暑さの中、夏の疲れが出やすい頃ですが、エアコンの使用・こまめな水分補給等の暑さ対策と熱中症には十分警戒し、くれぐれもお自愛の上お過ごしくださいませ。

村上げんよう所属委員会
特別委員会・行政・医療福祉対策特別委員会 委員長
常任委員会・厚生・産業常任委員会 委員

滋賀県議会議員

村上げんよう



活動報告 ～魅力ある地域づくり“心”と“身体”の『健康しが』を!!～



7月3日 滋賀県知事選挙 三日月大造知事(左)と前宮運動



5月31日 蓮上瀬手瀬川自治会 蓮上瀬手瀬川(右)と



5月28日 「びわ湖ホール音楽会に
おかけよう!」(ホールの子事業)



5月30日 拉致問題地方議会
全国協議会幹事会・拉致問題
国民大会



5月1日 滋賀県議会正副
委員長会合



4月28日 滋賀県議会招集会議
加藤誠一議長(右)と



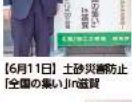
5月9日 自由民主党滋賀県第3選挙区支部総会



4月11日 滋賀県医師会連合会総会



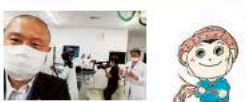
7月12日 第6回滋賀県消防法
訓練大会



6月11日 土砂災害防止
全国大会JRA滋賀



6月7日 フライングディスク交流体験会・強化練習会



7月14日 厚生・産業常任委員会
県内行政調査 滋賀県庁大にて



7月16日 行政・医療福祉対策特別委員会 県内・県外行政調査



6月22日 滋賀県献血の輪を広げる会総会・特定非営利活動法人設立総会



7月24日 産業廃棄物最終処分場
計画に関する勉強会



7月24日 産業廃棄物最終処分場
計画に関する勉強会

村上げんようの日々の活動はFacebookに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

7月定例会議 一般質問 (令和8年8月4日) 18項目の質問をしました。(抜粋)

甲賀市での産業廃棄物最終処分場計画について

甲賀市では、安定型産業廃棄物最終処分場(以後は安定型処分場)の建設計画があり、地域にとって大変大きな問題となっています。計画されています処理場のすぐ隣に次郎九郎川という小さな支流の川があり、田村川と合流して、野洲川につながります。この田村川では地元小学校生徒が20年以上にわたり自然学習をされています。

また、野洲川流域は、多くの市の水道水源、農業用水として極めて重要な役割を担っております。仮に想定外の有害物質の漏えいや水質悪化が発生した場合、取水停止や代替水源確保など、流域全体の生活や産業に重大な影響が出ることは明らかです。

現在、環境影響評価の手続きが進んでいると承知していますが、地元住民や甲賀市長から多くの懸念が出ていることと認識しており、また地元の甲賀市議会だけでなく、野洲川流域のその他4市議会からも厳正な審査を求めるなどの意見が出たと聞いております。また説明会でも多くの住民の方が、河川や地下水の汚染等を大変心配されているところです。

現行の法令では不十分な水質汚染防止基準、緩い立地基準、住人の意思の尊重軽視の多くの問題があります。県として

は、許認可の責任はありますが、数量はなく、許可申請書が提出された場合、法令上の要件が満たされれば許可できる、というのが現状です。

知事は、この度の選挙で、くまなく県下を回られましたが、甲賀市土山の現場にも来て見ていただきました。その時そこにおられた多くの方々、また別の機会でも農業関係者などからの要望等、生の声を聞いていただきました。

Q 今回の設置計画に係る農家の思いを受け止め、今後どのように対応されるのか伺う。

A 知事 IBRDエンジニアリング社の問題のような事態を二度と引き起こしてはならないと改めて強く決意したところでございます。

現行の制度では、不安だからという理由だけで事業計画を中止させることはできない建てつけになっており、事業者に對しまして、法令で定められた基準に加え、住民の安全・安心につながる事業計画や環境保全措置を講ずることを求めていると考えてござい

す。国に提案した内容を先駆けて実施することを目指す等、必要な指導を行ってまいりたいと存じます。

産業廃棄物最終処分場を支えるためのインフラであり、我が国ではその数量は不足しているといわれています。産業経済の発展のためには建設は必要なのです。

「しが」それはあくまで、「県民の命と健康」「将来世代の水と環境」を守るという最優先の原則の下で、県民へのリスクと受益のバランスを勘案しながら、慎重の上に慎重を期して進められるべきであります。また、水質に係る汚染が発生しなくても、農業や観光資源への影響など心配する声も聞かれます。こうした住民の思いもあるということをご認識いただき、厳正な審査、指導を行うよう求め、質問を終わります。

詳しい内容については、滋賀県のホームページをご参照ください。



7月15日 安定型産業廃棄物最終処分場建設

村上げんよう事務所

〒528-0005
滋賀県甲賀市水口町水口5595番地1 ポスナルビル4階
TEL: 0748-70-3833 FAX: 0748-70-3653

E-mail: genyo@ac-koka.jp
村上げんようホームページ: <https://murakamigenyo.net/>
村上げんようFacebook: facebook.com/murakamigenyo/



◀ ホームページ

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主党 滋賀県議会議員団

県議会レター

代表質問

7月定例会議



4期目の任期が始まったばかりの三日月知事に対し、知事選を通じて課題とされた施策などについて、会派を代表して質問を行いました。

質問者 菅沼 利紀 議員

4期目の県政運営について

Q 県政を担うにあたり、何を成し、どのような滋賀県を目指すのか。

A 4期目の県政を担うにあたりまして、安心の地域医療・介護体制づくりや、国・県・産の連携を活かしたスポーツの振興など、「ひとの健康」そして、地域防災力の強化、新たな産業の創出やD・C、デスティネーションキャンペーンを好機とした観光の振興、交通まちづくりなど、「社会と経済の健康」そして、県民参画による琵琶湖の保全や、やまの健康、サーキュラーエコノミーの実現など、「自然の健康」という3つの健康の取組を進めるとともに、その基盤となる「ひとづくり」では、子ども施策をはじめ、時代の変化を先取りする県立高校の改革、産業や医療・福祉の担い手の育成などに、さらに、ジェンダー平等や多文化共生、誰もが孤立せず支

え合いを紡ぐなど、次の時代を見据えた「次代の健康」に注力してまいります。

こうした考えのもと、各種施策に計画的に取り組み、「ささえあって、ともにいきる健康しが」の実現を目指してまいりたいと存じます。

Q 人口分布が二極化の傾向のなか、県全体の調和について、どのように認識しているのか。

A 人口減少や高齢化に伴う課題が先行している地域として、令和5年度以降、県北部地域の振興に集中的に取り組んできた中で、意欲ある若者や地元の方々

が、地域をより良くしようと思いを同じくして取り組む、支えあう姿に、これからの地域づくりの可能性を感じているところでございます。

こうした北部地域での取組から得た気付きを他地域でも展開し、老いや弱さに寄り添う「ささえあう」地域づくりに取り組んでまいりたいと存じます。

地域交通の維持・充実について

Q 新たな任期の4年間に、地域交通の維持・充実に向けて取り組んでいかれるのか。

A 地域交通の維持・充実に向けては、これまで、路線バス等の運行支援など、県民の暮らしを支える交通ネットワークの維持確保に取り組んできたところでございます。

今後は、こうした取組に加えまして、特に、交通軸となります鉄道やバス路線の利便性向上を図りますとともに、駅までのアクセス向上など二次交通の

充実や、地域の輸送資源のフル活用、自動運転など未来を見据えた取組を進めることで、地域交通の魅力や利便性を実感してもらい、「一度乗ってみよう」「もう一度乗ろう」と思ってもらえるような変化の兆し、好転の兆しを作るとともに、運転士不足など深刻化する課題にもしっかりと向き合っていきたいと存じます。

Q 財源について、県としてどのように確保し、国に対してどのように支援を求めているのか。

A まずは、交通事業者の収入増につながる利用促進や国費の積極的な獲得、不断の事業見直しなどに検討しながら、限られた財源の中で必要な施策を計画的に実施してまいります。

また、国に対しては、昨今の「交通空白の解消」に向けた動きなども注視しながら、全国知事会をはじめ、様々な要望の機会を捉え、安定的な財源の確保と支援制度の充実について、引き続き要望してまいりたいと存じます。

こうした取組に加えまして、将来にわたる施策を安定的に実施していくため、新たな財源についても検討しながら、その選択肢の一つである新たな税につきましましては、予断を持たず、慎重かつ丁寧に検討を重ねてまいりたいと存じます。

Q 県としてどのように市町を支援していくと考えているのか。

A 公共ライドシェアや、福祉、教育等との連携など多様な移動手段の活用等のモデル実証を行い、その結果やノウハウを展開することで、市や町が状況に応じて最適な手段を組み合わせて、住民の移動を確保できるよう支援を行っております。

また、今年度から、市町が実施するコミュニティバスやデマンド交通の充実等に係る取組に対する支援を新たに開始したところでございます。

大津市

目片 信悟 (4期) 桑野 仁 (3期) 桐田 真人 (2期)

目片 信悟 (4期) 桑野 仁 (3期) 桐田 真人 (2期)

目片 信悟 (4期) 桑野 仁 (3期) 桐田 真人 (2期)

守山市 **草津市**

西村 弘樹 (1期) 奥村 芳正 (5期) 白井 幸則 (2期)

西村 弘樹 (1期) 奥村 芳正 (5期) 白井 幸則 (2期)

西村 弘樹 (1期) 奥村 芳正 (5期) 白井 幸則 (2期)

野洲市 **栗東市** **湖南市**

井狩 辰也 (2期) 田中 英樹 (1期) 菅沼 利紀 (2期)

井狩 辰也 (2期) 田中 英樹 (1期) 菅沼 利紀 (2期)

井狩 辰也 (2期) 田中 英樹 (1期) 菅沼 利紀 (2期)

近江八幡市 **東近江市** **日野町** **栗田町**

近江八幡市 東近江市 日野町 栗田町

近江八幡市 東近江市 日野町 栗田町

近江八幡市 東近江市 日野町 栗田町

甲賀市 **東近江市** **日野町** **栗田町**

甲賀市 東近江市 日野町 栗田町

甲賀市 東近江市 日野町 栗田町

甲賀市 東近江市 日野町 栗田町

高島市 **長浜市**

海東 英和 (3期) 川島 隆二 (5期) 柴田 清行 (2期)

海東 英和 (3期) 川島 隆二 (5期) 柴田 清行 (2期)

海東 英和 (3期) 川島 隆二 (5期) 柴田 清行 (2期)

彦根市 **犬上郡** **近江八幡市** **竜王町**

彦根市 犬上郡 近江八幡市 竜王町

彦根市 犬上郡 近江八幡市 竜王町

彦根市 犬上郡 近江八幡市 竜王町

周防 清二 (3期) **本田 秀樹 (2期)** **谷 成隆 (1期)**

周防 清二 (3期) 本田 秀樹 (2期) 谷 成隆 (1期)

周防 清二 (3期) 本田 秀樹 (2期) 谷 成隆 (1期)